

関東大震災と朝鮮人の虐殺



自警団に虐殺された朝鮮人（さいたま市・赤羽敏衛氏提供）

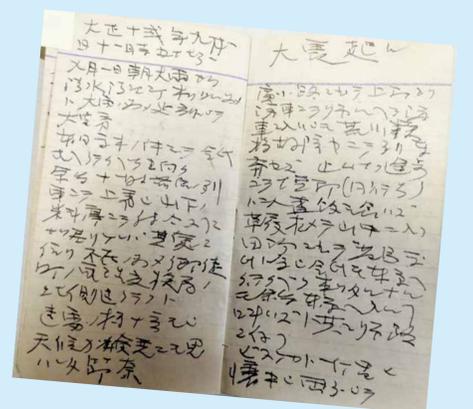
1923年9月1日の関東大震災のとき、「朝鮮人が放火した」「暴動を起こす」というデマが流されました。事実無根のデマを広めるうえで、海軍の送信所や県の通牒文（つうちょうぶん）など、当局がかかわっています。

軍隊・警察・デマにおどらされた民間人らにより、6600人におよぶ朝鮮人が虐殺されました。本庄、熊谷、神保原をはじめ、寄居、大宮など埼玉県だけでも193人の朝鮮人が虐殺されました。

1959年、本庄・長峰墓地に建てられた慰霊碑の裏側には、「厳粛な反省と明るい未来への希望を込めてこの碑を建立し日朝友好と世界平和のために献身することを地下に眠る犠牲者に誓う」と記されています。

「吉三郎メモ」に見る 片柳事件とその後

2016年10月、高橋隆亮氏宅で、事件当時片柳村染谷の区長を務めていた隆亮氏の祖父・吉三郎氏の片柳村染谷での朝鮮人虐殺事件に関する経過を記録した手帳を発見しました。「大正十三年九月一日十一時五十七分 大震災起ル」とやや大きな文字で表題が記されています。そして20頁にわたって、9月1日の大震災発生直前から書き起こし、事件の発生、被疑者の検挙、取り調べ、



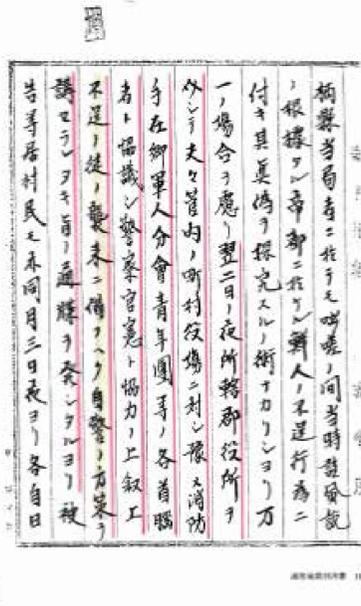
公判、判決、恩赦に至る一連の経過が記されていました。一人の朝鮮人を村の自警団が殺害したという事実が明らかになったのです。吉三郎さん及び村の人々がこの事件をどのような意識を持って見ていたかを知ることができます。

姜大興さんはなぜ殺されたのか

1923（大正12）年9月1日の関東大震災直後の9月3日の深夜、24歳の朝鮮人青年、姜大興さんは浦和方面から片柳村に迷い込み、4日午前3時頃、武器を持った染谷の自警団と遭遇し、「不逞鮮人」と見なされ襲われました。姜さんは、刀や槍によって全身20数か所の傷を負い、病院に運ばれる途中、4日朝、痛み悶え苦しみながら息絶えました。

事件の原因となった県の通牒

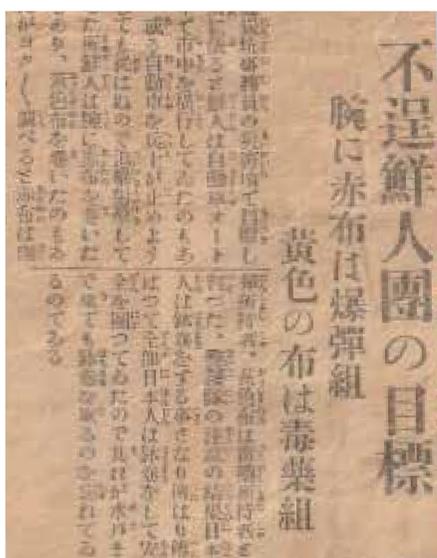
浦和地方裁判所の判決文では、事件の原因の一つとして、「不逞鮮人」の襲来に備えて自警をせよとの通牒（「不逞鮮人暴動に関する件」）を埼玉県が発したため、村民は日本刀や槍を持って警戒をしていたことをあげています。日本の植民地支配に抵抗する朝鮮人は「不逞鮮人」と呼ばれ、政府は厳しく取り締まっていました。



「不逞鮮人」への恐怖心

1919年の3・1独立運動以後、新聞記事などに「不逞鮮人」という言葉がさかんに出てきます。記事は「爆弾を投ぜんとした不逞鮮人」「不逞鮮人の陰謀暴露す」など、「不逞鮮人」を日

本人を襲撃するテロリストのように描き、人々に恐怖心を植え付けていました。左の新聞は1923年9月5日付の「いはらき」です。見出し読んでみてください。



自警団の中心になった在郷軍人

在郷軍人とは日本軍の教育を受け、場合によっては「不逞鮮人」を「討伐」した戦場経験をもつ兵士で、地域にもどって予備役、後備役などにあたっていました。

写真は、9月3日に秩父鉄道永田駅近くで撮影されたもので、竹やりなどで武装する花園村（現深谷市）の自警団が整列している様子が写されています。左から5人目の人物は、軍帽と思われるものをかぶっています。おそらく在郷軍人だと思われます。



在郷軍人と思われる人物

常泉寺の姜大興さんのお墓

県の誤った通知の責任は重大ですが、通知や流言を鵜のみにして姜さんを殺してしまったひとたちの朝鮮人への差別や偏見も反省しなければなりません。

事件直後に染谷の常泉寺に建てられたお墓は、犠牲になった姜さんの冥福を祈るとともに、二度とこのような事件が起こらないようにとの染谷の皆さんの願いが込められています。



常泉寺（さいたま市見沼区）にある姜大興さんのお墓

埼玉における朝鮮人虐殺追悼の歴史



⑥安盛寺(上里町)
 関東震災朝鮮人犠牲者慰霊碑がある。42人が犠牲に。毎年9月1日に朝鮮人犠牲者慰霊祭がおこなわれている。
 ●上里町大字神保原町263

③長峰墓地(本庄市)
 関東震災朝鮮人犠牲者の慰霊碑がある。本庄新聞記者団が建立。約100人が犠牲に。毎年9月1日に長峰無縁墓地慰霊追悼式がおこなわれている。
 ●本庄市東台5丁目



④浄眼寺(本庄市児玉)
 「鮮覚悟道信士」と刻まれた無縁仏の墓がある。児玉警察署員一同が建立。
 ●本庄市児玉町八幡山375

⑤熊谷寺大原墓地(熊谷市)
 供養塔がある。熊谷在住朝鮮人韓某(この人は「本市ニ於テ遭難セル生還」とある)が建立。約70人が犠牲に。毎年9月1日に朝鮮人犠牲者慰霊祭がおこなわれている。
 ●熊谷市大原1-22-24



②正樹院(寄居町)
 「感天愁雨信士」と刻まれた具学永さんの墓がある。宮沢菊次郎氏他が建立。
 ●寄居町大字寄居864



①常泉寺(さいたま市見沼区)
 「朝鮮人姜大興墓」と刻まれた墓がある。染谷一般が建立。毎年9月1日に朝鮮人犠牲者慰霊祭、同月4日に朝鮮人犠牲者追悼会がおこなわれている。
 ●さいたま市見沼区染谷3-242

建立年	碑名	建立者	場所
① 1923年か	朝鮮人姜大興墓	染谷一般	さいたま市常泉寺
② 1925年か	感天愁雨信士	宮沢菊次郎他有志者	寄居町正樹院
③ 1924年	鮮人之碑 ※「鮮人」という差別的表現があるため公開されていない。	本庄新聞記者団・泰平会社演芸部	本庄市長峰墓地
④ 1932年	鮮覚悟道信士	児玉警察署員一同	児玉町浄眼寺
⑤ 1938年	供養塔	市内有志	熊谷市熊谷寺大原墓地
⑥ 1952年	関東震災朝鮮人犠牲者 慰霊碑	神保原村・賀美村・埼玉県朝鮮人	神保原安盛寺
⑦ 1959年	関東震災朝鮮人犠牲者 慰霊碑	日朝両国人有志	本庄市長峰墓地

①は2017年から日朝協会埼玉県連合会が追悼会を実施。
 ②は2023年から地元の「むくげの会」が追悼式を実施。
 ⑤は1957年に熊谷日朝親善協会が慰霊祭を実施。
 ⑥は1952年から神保原村などが慰霊祭を実施、1957年からは⑦の本庄市とともに慰霊祭を実施。
 なお、1995年から⑤は熊谷市・⑥は上里町・⑦は本庄市が主催して追悼式を実施している。